

第67回 CPD セミナー・公開講座(愛媛)

1 セミナーの概要

2019年12月7日(土)に、松山市「えひめ共済会館」において、第67回 CPD セミナー・公開講座(愛媛)および懇親会(愛媛県技術士会忘年会)を開催いたしました。

表1 プログラム

1. 開会挨拶 (14:30~14:40) (公社) 日本技術士会四国本部 副本部長 須賀 幸一
2. CPDセミナー (14:40~15:40) 演 題:『全天X線観測で探る激変するブラックホール』 講 師:愛媛大学 理工学研究科/宇宙進化研究センター 志達 めぐみ氏
3. 公開講座(1) (15:50~16:50) 演 題:『えひめの遺跡探訪』 講 師:松山市立埋蔵文化財センター所長・松山市考古館館長 梅木 謙一氏
4. 公開講座(2) (17:00~17:45) 演 題:『性的マイノリティ(LGBT)と人権』 講 師:西条人権擁護委員協議会 人権擁護委員 神野 隆義氏
5. 懇親会・忘年会 (18:00~20:00) (1)開会挨拶 愛媛県技術士会会長 増田 信 (2)乾 杯 四国本部事業副委員長 仙波 正司 (3)中締め 愛媛県技術士会副会長 吉村 和司
6. 閉 会

セミナー44名・懇親会37名のご参加を頂きました。



写真1 セミナー会場の様子

2 CPD セミナー 志達 めぐみ氏

CPDセミナーは、愛媛大学理工学研究科 宇宙進化研究センター 志達 めぐみ氏よりブラックホールの観測についてご講演を頂きました。

ブラックホールは星の最後の姿であり、太陽の20倍以上の質量を持つ恒星が最後の大爆発を起こした後に造られる天体だそうです。

ブラックホールは自己の非常に強い重力で時空が歪められ、光の速度でも脱出できない、すなわち見ることができない天体とのことですが、間接的にブラックホールを探し出す「全天X線監視装置MAX I」について説明を頂きました。

ブラックホールと連星を成す恒星から、ブラックホールへ落ちてゆくガスが高温になり発生するX線の変化(短期間で1万倍以上明るくなる)がある)を全天画像から24時間観測することにより探し出すとのことです。

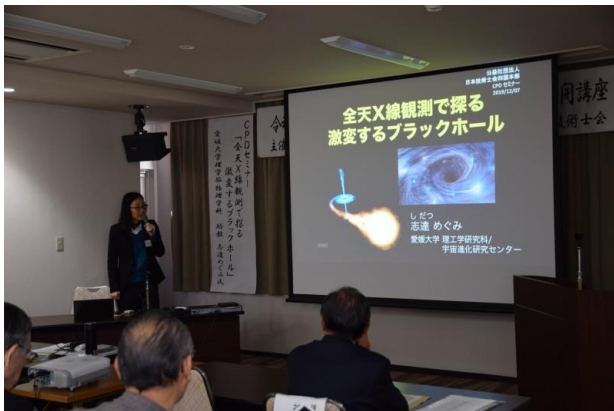
MAX IのX線検出原理と新星発見後の研究者への速報体制、また今後ブラックホールから噴き出すジェットのマカニズムや終着円盤の解明に向けて開発中である「X線分光撮像衛星XRISM」計画についても説明を頂きました。

XRISM計画については、愛媛大学からも3人の教官が参加しており、観測機器の冷却装置は県内の企業で開発が行われているとのことです。

将来的に、このような悪環境での観測技術やデバイスの小型化技術が実社会にもフィードバック

されてゆくのだと思います。

写真2 志達氏の講演



3 公開講座(1) 梅木 謙一氏

公開講座(1)は、松山市立埋蔵文化財センター所長・松山市考古館館長 梅木 謙一氏よりご講演を頂きました。

T V番組でもおなじみの「ブラタモリ」や「世界ふしぎ発見」にもご出演されており、古代衣装のコスプレで番組裏のエピソードも交えて非常に分かり易くご紹介いただきました。

特に「世界ふしぎ発見」で紹介のあった松山市の「葉佐池古墳」は未盗掘のまま発見され、国指定史跡になっているとのことでした。

中でも驚いたのが、人骨にハエのさなぎ殻が付着していて、そのハエの習性から死後かなりの間外の場所に安置されていたことが分かり、古代の儀礼「殯＝もがり」が実際に行われていたことを考古学的に証明する貴重な資料となったとのことでした。この「もがり」は現代の「お通夜」に通ずるとのことでした。

また、松山にも前方後円墳が15カ所くらいあるとのことでした。

皆様も休日はぜひ講座でご紹介いただいた下記古墳や松山市考古館へ足を運んでみて下さい。

(宇摩向山古墳、正光寺山古墳、八堂山遺跡、妙見山古墳、葉佐池古墳、大下田古墳、穴神洞窟遺跡、笠置峠古墳)



写真3 梅木氏の講演

4 公開講座(2) 神野 隆義氏

公開講座(2)は、西条人権擁護委員協議会人権擁護委員 神野 隆義氏よりご講演を頂きました。

私たちの周りには、L (レズビアン)、G (ゲイ)、B (バイセクシャル)、T (トランスジェンダー) と呼ばれる、性的指向が同性や両性を対象とする人や、体の性と自己の性意識が一致しない人など、様々な人たちがいることについて講義を頂きました。

こうした人たちは、性別に関して世の中の多くの人たちと異なる特徴をもつことから「性的少数者」(性的マイノリティ) と呼ばれています。

また、電通の調査によると約10人に一人はLGBTを自認しているとのこともありました。

病気とかおかしなことではないにもかかわらず、日本では未だに偏見や敬遠する風土があり、「LGBT」であることで社会において苦しんでいる人が多く存在しているとのことでした。

法務省では「LGBT」についても明確に「人権問題」として取り上げられており、一人一人が正しい理解と認識を持つことが必要だとのことでした。

講座では法務省の人権擁護機関や(公財)人権教育啓発センターのパンフレットも配布いただきました。これを機会に「LGBT」や人権について正しい理解を深め、多様性を認め合う社会について考えて行く必要があると思います。



写真4 神野氏による講演

6 おわりに

遙か彼方宇宙に関する話題から、身近に存在する遺跡、また国際的に問題となっている「LGBT」に関する話題など、多様な分野からの幅広い知識を得るよい機会となりました。

原田 徹 (はらだとおる)
四国本部広報委員
技術士 建設部門
(株)富士建設コンサルタント

5 懇親会・忘年会

セミナーの後、恒例の忘年会が開催されました。

四国本部 増田幹事 (愛媛県技術士会会長) の挨拶の後、四国本部 仙波幹事 (事業副委員長) の乾杯の音頭で忘年会が始まり、約2時間の歓談の後、愛媛県技術士会 吉村副会長の中締めの挨拶で閉会しました。

写真5 増田幹事の挨拶



写真6 歓談の様子

